

新幹線「かもめ」輸送 FINAL（第4弾）

（令和4年7月28日～8月4日）

令和4年1月から始まった新幹線「かもめ」の輸送は、最後となる第4弾が令和4年7月28日から8月4日にかけて行われました。



輸送経路図

これまでと同様に1編成6両の輸送が行われましたが、今回は、山口県下松市から長崎県の川棚港まで海上輸送する途中に、唐津東港、佐世保港、長崎港へ寄港し、JR九州主催の市民参加型イベント「私たち、かもめ。」プロジェクトにより各地で結成された「かもめ楽団」によって、「かもめ」の誕生を祝うイベントが実施される予定となっていました。しかし、台風接近の影響により、佐世保港と長崎港への寄港は残念ながら取り止めとなってしまいました。

しかし、イベントは予定通り行われ、「かもめ楽団」のキャプテンを中心に「かもめ」の誕生を、歌って、踊って、奏でて想い思いのカタチで祝い、開業を盛り上げました。



「かもめ楽団」のキャプテンによる演奏の様子（長崎港）



「かもめ」の誕生を祝って「Happy Birthday」を歌う様子（長崎港）

海上輸送後、川棚港で陸揚げされた「かもめ」は、大村車両基地まで陸上輸送されました。

「かもめ」の輸送は今回が最後ということもあり、川棚港から大村車両基地までの沿道などには、陸を走る「かもめ」を一目見ようと多くの人がかけて、輸送の様子を見守りました。



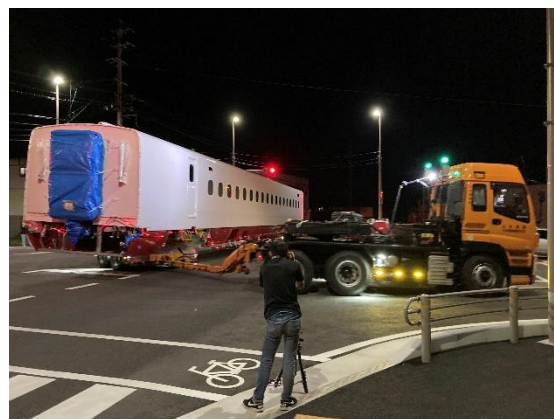
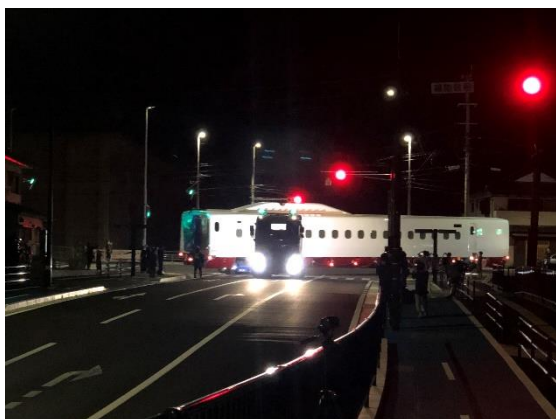
川棚港を出発する様子

東彼杵町にある千綿駅前の歩道橋の下を通過する際は、トレーラーのスピードを落とし慎重に通過していました。



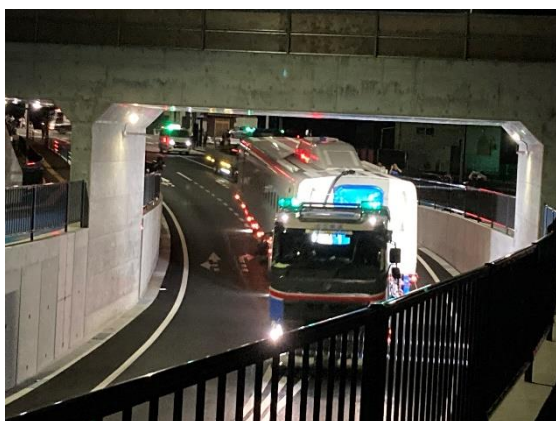
歩道橋の下をすれすれで通過する様子

また、大村市の沖田町交差点を曲がる際は、下の写真のように交差点を目一杯使い、牽引車と「かもめ」が「く」の字のように折れ曲がりながら器用に通過していました。



沖田町交差点を曲がる様子

交差点を曲がった「かもめ」はその先にある JR 大村線の橋の下を通過し、その後大村車両基地に搬入されました。



JR 大村線のアンダーを通過する様子



大村車両基地に搬入される様子

これで予定されていた 4 編成全ての搬入が完了しました。

なお、第 3 弾に続き、今回の車両も「かもめ」の文字やシンボルマーク等が全く無い状態で搬入されました。

現在、開業に向けて訓練運転が行われており、8 月中旬頃には国による完成検査が行われ、この検査に合格すると開業出来ることになります。

令和 4 年 9 月 23 日の開業まであと 50 日、もう少しで長崎に新幹線が走り出します。